
仮面ライダーブランク

Rider.0

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーブランク

【Nコード】

N9576H

【作者名】

Rider.0

【あらすじ】

街の交差点に怪人が大量発生、そこで変身した人々「ヒューマントルーパー」

Episode 0・ヒューマントルーパー

その場所では、ビーストギルスとシン、そしてアナザーアギトが戦っていた

「怪人が調子に乗るな!!」

ビーストギルスがシンに攻撃したが、よけられる

「俺は仮面ライダーシンだ、怪人とか言うな!!」

シンが名乗ると、「どっちでもいい、本当の仮面ライダーはこの俺だ」とアナザーアギトが言う

「そうかよ…じゃあな」と言ってギルスが退散したと同時にシンが

「俺も帰るか…」と言い、シンも帰る

「俺も帰ろうか…」アナザーアギトもどこかに消える

その頃、人が大勢いる交差点では、なぜか怪人が大量発生し、人々の腰には「ヒューマンバツクル(ベルト形態)」が巻かれ、どこからか「ベルトが巻かれているだろう」、「変身」と言えばヒューマントルーパーに変身できる…変身すれば、少しは怪人に対抗できる…

…

「なんだ…これは…」「変身!」人々が次々と変身していく人中、一人だけ変身した後、ベルトにレバーがある者がいる、その者の名は「神牙^{カムキョウ}隼人^{ハヤヒト}」という、神牙は、そのレバーを倒した、それと同時にベルトから<MASKED RIDER BLANK>の
声…

To be Continued...

Episode 0・ヒューマントルーパー（後書き）

各キャラクターの紹介

…仮面ライダーブランク

数々のヒューマントルーパーの中から「神牙 隼人」のみが変身したライダー

…ヒューマントルーパー

ヒューマンバツクルを使い変身する、どんな者でも変身できるが、弱い

…ビーストギルス

仮面ライダーギルスの強化形態、背中に長い爪のような物が生え、体の緑の部分が赤くなり、爪が伸び、目が黒に、ベルトの緑（黄）の部分も赤くなり、戦闘力が格段に上がる

Episode 1 仮面ライダーブランク（前書き）

前回までのあらすじ

街に大量の怪人が出現、次々とヒューマントルーパーに変身していく人々、一人だけ更に変身した者が、何故更に変身出来たのか！？

Episode 1・仮面ライダーブランク

「変身！」

< MASKED RIDER BLANK SYSTEM ALL
CLEAR >

< FULL POWER CHARGE OK >
< BLANK SYSTEM PERFECT >

「え？なんだこれ…みんなと同じじゃないの？ええええ！？」神牙が驚くとベルトからく君には普通ではない「勇気」が見えた、ヒューマントルーパーに変身させるだけでは惜しい、だから、君だけは「仮面ライダーブランク」のベルトになる、「ネオヒューマンバツクル」別名「ブランクバツクル」を付けた、これからはブランクになつて戦つてもらふ、勝手だが、よろしく>といういかにも人のような声が出た「ベルトが喋つた！！！」と言うとまたベルトからくこの程度の説明はできる、人工知能を搭載しているからな、さあ、戦うんだ>という声が「ええええ！！！」とりあえず、戦つてみるよ」

“うおおお！！！！俺には戦えない！！やらないと俺たちが倒される！！！！はあつ！！”というようなヒューマントルーパーに変身した人々の声の中「俺は戦う！！」と神牙が言ふと怪人が「ライダー、コンドハオマエカ、グアグオオオオオ！！」などと言い、全ての怪人が襲ってくるが、神牙がベルトに武器の「BLANK SYSTEM No.13 ブランクブレード」と技の「BLANK SYSTEM No.17 エネミースラッシャー」のカードを入れるとブランクブレードを呼ぶと同時にエネミースラッシャーを繰り出す、怪人は一掃され、人々が歓喜に湧く

To be Continued...

Episode 1 仮面ライダーブランク（後書き）

…ネオヒューマンバツクル（ブランクバツクル）

ヒューマンバツクルの強化版のような物、最初にヒューマントルーパーに変身し、ヒューマントルーパーに変身した後にベルト付くスイッチを下ろすと仮面ライダーブランクに変身できる、仮面ライダーブランクに変身した後はベルトの構造が変わる

Episode 3・もう一人のブランク（前書き）

ブランクに変身し、武器を召喚、そして技を繰り出して、怪人を倒したブランク…

世界の明日を守れ！！

Episode 3・もう一人のブランク

「ふん、もう一人の…仮面ライダーブランクか…」

<あちらの変身者は、神牙 隼人というらしい>

「神牙 隼人が…」

<知っているのか？>

「知らないな」

<そうか…>

<MASKED RIDER BLANK>

「変身…」

<SYSTEM PERFECT>

「ライオトルーパー達の様子は？」

<今も変わらず…>

「ゼクトルーパーは…」

<もう一人のブランク…それに付く者たちだな>

「ふん…そうか」

<…？ライオトルーパー数十人がヒューマントルーパー一人に次々と倒されていく…>

「なんだと！？」

<これは、ネオ反応…もう一人のブランクか！！>

「映像を出すんだ！！」

<分かった…ん？これは…今から画像を出す>

「これは…ネオヒューマントルーパーだと！？」

<ブランク変身のレバーはない…>

「なんだと！？まだ開発段階のはずだ！！」

「行くぞ！！ライオトルーパー総動員だ！！」

<分かった…>

その頃、神牙側

「ヒューマントルーパーのみんな、喜んでるなー…って、他人だよ、赤の他人…」

< ほう、そんな事で…喜べるのか >

「いや、喜んでなんかいない…」

< そうか…ん？ネオヒューマントルーパーがあいつの基地に…ライオトルーパーが総動員！？それにあいつまで…次々にライオトルーパーが倒れていく…！ >

「どうしたんだ？」

< もう、教える時が来たのか…？早かったな…この世界にはあと二人のブランクがいる >

「あと二人！？どういうことだ！？」

< ブランクは、三人が協力する事で完全な姿になるんだ >

「なんだって！？」

< 一番最初に出来たブランクは、さっき言ってたあいつなんだよ… >
「そうだったのか！？」

T o b e C o n t i n u e d . . .

Episode 3 もう一人のブランク（後書き）

…もう一人の仮面ライダーブランク

ライオトルーパーを味方に付けているが、それ以外は謎

…ライオトルーパー

一万人のライダー部隊、もう一人の仮面ライダーブランクの味方らしい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9576h/>

仮面ライダーブランク

2010年10月10日02時13分発行